

《基礎科目》

科目名	英会話				
担当者氏名	クリスル サウ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

To improve English skills students will be using fun & lively exercises & fluency-building activities. Students will learn phrases that are often found in English conversations & develop vocabulary. Students should learn to have a simple conversation with a foreigner. They should learn to speak about themselves, their hobbies, talents, dreams, plans for their future.

《授業の到達目標》

Students develop confidence and fluency as they try to improve their English skills. Students will learn to ask questions to be able to interact with others about various subjects. Students will learn to answer in complete sentences, and carry on a conversation with others.

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %  
 課題 10% 実技 40%  
 授業の取組 100%  
 その他 (Homework) 10%

《教科書》

Classbook: "Take it Easy" by Herman Bar-telen

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

I correct spelling, grammar & if writing is original (witty) I reward the test / report / or any other writings with an extra point.

《成績評価基準》

- Tests, check their written homework & papers they write in class.
- I let them work in pairs (2-3 people) & 'perform', I will ask them questions in class.

《参考図書》

occasionally extra work or grammarsheets (dependant on the students needs)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Unit 1-1	[Class introduction, Meeting & Greeting People] Short introduction Family, Plans, Hobbies (pg.7)(1 h)
2	Unit 1-2	[Present Tense Questions & Answers] Write 3 sentences in Present Tense (pg.10) (1 h)
3	Unit 2-3	[Past Tense Questions & Answers, Showing interest] Write 3 sentences in Past Tense (pg.13) (1 h)
4	Unit 2-2	[Talking about the Past] Fill out the questions on pg.16 (1 h)
5	Unit 3-1	[Expressing Frequency, Talking about News] Use the words always, often, never in a sentence (pg.19) (1 h)
6	Unit 3-2	[Using "How ... ?" Questions] Write 3 sentences using 'How' (pg.22) (1 h)
7	Unit 4-1	[Making Plans, Saying no to Invitations] Invite a friend to a party, pls write an invitation (pg.29)(1 h)
8	Unit 4-2	[Talking about Activities] Talk about an activity you enjoy (pg.32) (1 h)
9	Unit 5-1	[Expressing Likes and Dislikes] Write about 2 dishes you like to cook (pg.35) (1 h)
10	Unit 5-2	[Ordering in a Restaurant] Fill out the questions on pg. 38 (1 h)
11	Unit 6-1	[Future Tense Questions & Answers, Agreeing & Disagreeing] Talk about a plan for the future (pg.41) (1 h)
12	Unit 6-2	[Expressing Certainty & Uncertainty] Study the word Bank on pg. 44 (1 h)
13	Unit7/Review for the Test	[Talking about Location/Review for the Test] Explain the route from your home to school (1 h)
14	Written/Verbal Test	Review for your test (1 h)
15	Return test results, answer questions	[Return test results, answer questions, learn a song] write down questions you have (1 h)

《基礎科目》

科目名	キャリア演習				
担当者氏名	大谷 美咲、矢野 沙織、岸田 優、久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

「ふくおかではたらく」等のグループワークを通じて、社会人基礎力を身につけるとともに、自らの進路を決定する。

《教科書》

西短学生支援部『就職活動ハンドブック』（2021）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期に課題を課し、教員のコメントを付して返却する。返却された課題は、適宜復習可能なように「学修ポートフォリオ」に保存すること。

《授業の到達目標》

自分の強み・弱みを把握し、自分自身への理解を深めることができる。グループワークを通じて、他者と適切なコミュニケーションをとりながら、自己の役割をはたすことができる。様々な演習や講演等を通じて、現代社会の仕組みを理解することができる。自己と社会への理解を深めながら、将来どのように生きていきたいか(キャリアデザイン)について考えることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ~ の達成度を課題によって測定する(80%)。また、グループワークへの主体的な参加姿勢を評価に加える(20%)。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 80% 実技 %  
 授業の取組 20%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：講義概要を読む(30分)。 復習：時間割の確認(30分)。
2	進路調査・打ち合わせ	予習：進路について考えておく(30分)。 復習：打ち合わせ内容の確認(30分)。
3	企業研究・職業選択を考える	予習：進路について考えておく(30分)。 復習：進路情報の収集(30分)。
4	2年生グループワーク	予習：福岡県内の企業について調べておく(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
5	2年生グループワーク	予習：福岡県内の企業について調べておく(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
6	2年生グループワーク	予習：福岡県内の企業について調べておく(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
7	2年生グループワーク	予習：福岡県内の企業について調べておく(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
8	2年生グループワーク	予習：福岡県内の企業について調べておく(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
9	2年生グループワーク	予習：福岡県内の企業について調べておく(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
10	1・2年生交流会打ち合わせ	予習：交流会の内容案を考えておく(30分)。 復習：交流会の準備(30分)。
11	2年生グループワーク(報告会)	予習：報告会の準備(30分)。 復習：報告会の内容の振り返り(30分)。
12	2年生グループワーク(報告会)	予習：報告会の準備(30分)。 復習：報告会の内容の振り返り(30分)。
13	これまでの学生生活の振り返り	予習：これまでの学生生活を振り返る(30分)。 復習：今後の計画を立てる(30分)。
14	1・2年生交流会	予習：交流会の準備。 復習：交流会の反省。
15	夏期休暇前指導・福浜祭打ち合わせ	予習：夏期休暇の計画を立てる(30分)。 復習：キャリア演習 全体の振り返り(30分)。

《基礎科目》

科目名	公務員教養 B-2 ( 数的推理 )				
担当者氏名	岩崎 靖				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正な能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。			

《授業の概要》

各分野の基本事項の解説の後、問題演習を行う。  
 期間後半は総合演習により、知識を定着させ、実践力を身につける。

《教科書》

初級スーパー過去問ゼミ 数的推理  
 ( 実務教育出版 )

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は講義内で解説します。

《授業の到達目標》

数的推理過去出題問題、またはそれに相当する問題を7割程度正解できるようになる。

《成績評価基準》

課題に対して正しい解法を用いることができる。  
 制限時間内に、確実に正解を導くことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%  
 課題 30%

《参考図書》

学生の志望に応じて紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	場合の数・数え上げ	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
2	順列	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
3	組み合わせ	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
4	確率	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
5	三角形・多角形	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
6	円と扇形	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
7	立体図形	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
8	総合演習	復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
9	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
10	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
11	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
12	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
13	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
14	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
15	まとめ	予習：今までの総復習(2時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養 C -2 (判断推理)				
担当者氏名	岩崎 靖				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正な能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

各分野の基本事項の解説の後、問題演習を行う。期間後半には総合演習を行う。

《教科書》

初級スーパー過去問ゼミ 判断推理 (実務教育出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題については、講義中に解説する。

《授業の到達目標》

論理的思考を養成し、公務員試験の判断推理、空間把握の問題に対し、8割の正解を求められるようになる。

《成績評価基準》

正しい手法で問題を解決できるか。  
決められた時間の中で問題を解決できるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%  
課題 30%

《参考図書》

学生の志望に応じて紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・図形の切断と構成	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
2	折り紙と模様	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
3	軌跡	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
4	図形のつながり	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
5	立体の組み立て	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
6	展開図	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
7	投影図	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
8	立体の開店と切断	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
9	図形のまとめ	予習：1～8講の復習(1時間) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
10	総合演習	復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
11	総合演習	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
12	総合演習	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
13	総合演習	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
14	総合演習	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
15	まとめ	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養D（政治・経済）				
担当者氏名	村上 悠				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

本授業は、公務員試験に共通して課せられる教養試験のうち、政治を中心とする社会科学系科目について学びます。授業では、過去に出題された初級レベルの試験科目を実際に説明してもらい、それを産婚にしながら出題範囲の把握と重要テーマに関連する基礎的な内容を学びます

《教科書》

『公務員試験〔高卒程度・社会人〕初級スーパー過去問ゼミ社会科学』実務教育出版、2021年。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題に対しては、授業時間中に開設の時間を設けます。

《授業の到達目標》

この授業の到達目標は、公務員試験初級レベルで要求される、政治・社会・経済に関する基礎的な知識を習得し、応用問題にも対応できるようになることです。

《成績評価基準》

公務員試験の教養試験に要求される政治・社会・経済に関する基礎的な知識を習得し、応用できているかという点から評価します。

《成績評価の方法》

成績は筆記試験（90％）と通常時の授業への取り組み（10％）から評価します。

《参考図書》

授業中に紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	今年度の公務員試験の概要を調べておく(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
2	政治(1)近代国家と民主政治	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
3	政治(2)明治憲法と日本国憲法	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
4	政治(3)基本的人権	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
5	政治(4)内閣	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
6	政治(5)国会	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
7	政治(6)選挙制度	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
8	政治(7)裁判所	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
9	政治(8)地方自治	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
10	政治(9)諸外国の政治制度・政治思想	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
11	政治(10)国際政治	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
12	社会・経済(1)労働問題	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
13	社会・経済(2)社会保障制度	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
14	社会・経済(3)社会問題	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
15	まとめ	これまでの授業で扱った問題を再確認する(2時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養E（人文科学）				
担当者氏名	村上 悠				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

本授業では、公務員試験の教養試験のうち、近代以降の日本史・世界史を中心とする人文科学分野を学びます。授業では過去に出題された初級レベルの試験問題を実際に説いてもらい、それを参考にしながら出題傾向の把握と重要テーマに関する基礎的な内容を学びます。

《教科書》

『公務員試験〔高卒程度・社会人〕初級スーパー過去問ゼミ 人文科学』実務教育出版、2021年。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題については授業中に解説の時間を設けます。

《授業の到達目標》

この授業の到達目標は公務員試験初級レベルで要求される人文科学に関する基礎的な知識を獲得し、応用できるようになることです。

《成績評価基準》

成績は、公務員試験初級レベルで要求される、近現代の日本史・世界史の基礎的な知識が獲得できているか、応用問題に対応できているかという点から評価します。

《成績評価の方法》

筆記試験（90%）及び、通常時の授業への取り組み（10%）から評価します。

《参考図書》

授業中に紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	今年度の公務員試験の概要を調べる(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
2	日本史(1)近世	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
3	日本史(2)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
4	日本史(3)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
5	日本史(4)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
6	日本史(5)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
7	日本史(6)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
8	世界史(1)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
9	世界史(2)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
10	世界史(3)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
11	世界史(4)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
12	世界史(5)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
13	思想史(1)近代政治思想	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
14	思想史(2)近代政治思想	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
15	まとめ	これまでの授業内容を再確認する(2時間) 授業で扱った問題を復習する(2時間)

《基礎科目》

科目名	英語応用				
担当者氏名	西村 紀子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

この授業では、既習の語彙、文法を復習しながら読解問題に多く触れ、英語での文献に関してより詳しい専門的なレベルまで内容把握できる語学力を目指す。英検2級から準1級程度の英語力習得を目標にし、一定量の予習・復習を合わせて学習時間を確保しながら、語学力向上を計る。

《教科書》

英語長文 レベル別問題集（中級編）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《授業の到達目標》

今までに学習した英語の語彙、文法を確認しながら、実用英語検定準1級程度の語学力を目指す。  
また、長文問題に触れながら、既習の語彙、文法表現を正しく理解し、文脈より未習表現についても類推できるような、高い読解力習得を目指す。

《成績評価基準》

学習した語彙、熟語、文法表現が身についているか。  
授業で取り上げたと同程度の長文読解力が身についているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート - %  
課題 30% 実技 - %  
授業の取組 20%  
その他 ( ) - %

《参考図書》

適宜紹介

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業概要と長文読解に必要な基礎知識の確認	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
2	名詞・代名詞	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
3	動詞・動詞を含む熟語	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
4	形容詞・副詞・形容詞を含む熟語	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
5	前置詞	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
6	接続詞	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
7	時制	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
8	受動態	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
9	助動詞	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
10	比較	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
11	受け身（受動態）	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
12	長文読解問題	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
13	長文読解問題	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
14	長文読解問題	予習：課題語彙、読解問題（30分） 復習：学習項目の整理（30分）
15	学習項目の理解確認	復習：学習項目の整理（30分）

《基礎科目》

科目名	インターンシップ				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

夏期休暇、春期休暇の期間に、企業や官公庁、団体等の様々な職場で一定期間の就業体験を行う。受け入れ企業等から職場という貴重な経験の場の提供を受け実践的な学びを得る。  
 なお、インターンシップに参加するには1年生前期科目「インターンシップ実習指導」を履修していることが必須である。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習先企業の担当者からの課題、指導に従うこと。

《授業の到達目標》

- ①インターンシップの趣旨を理解できる。
- ②ルールとマナーを守って実習先での指導を忠実に受けることができる。
- ③主体的に就業体験を遂行できる。
- ④自身の今後の進路を主体的に設計できる。

《成績評価基準》

インターンシップ受け入れ先からの報告レポートに基づいて、到達目標に沿って総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

古閑博美『インターンシップ キャリア形成に質する就業体験』(学文社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
2	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
3	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
4	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
5	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
6	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
7	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
8	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
9	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
10	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
11	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
12	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
13	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
14	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
15	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間



《基礎科目》

科目名	検定文法 - A				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。			

《授業の概要》

- 1.N1レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
- 2.N1レベルの文法を使って、文章を書く練習をする。
- 3.N1レベルの聴解練習をする。

《教科書》

『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN1』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各ユニット終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
- ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N1に合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- 3.テキストで学んだN1文法を使用し、文章が書ける。
- 4.N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えを導き出せる。

《成績評価基準》

- ・N1文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
- ・N1文法を使用し、文章が書けるようになったか。
- ・N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えが導き出せるようになったか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《参考図書》

パワードリル文法N1

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N1文法 導入・練習	予習：テキストの内容を確認/1年次に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：第1回授業内容の復習(30分)
2	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第2回授業内容の予習(30分) 復習：第2回授業内容の復習(30分)
3	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第3回授業内容の予習(30分) 復習：第3回授業内容の復習(30分)
4	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第4回授業内容の予習(30分) 復習：第4回授業内容の復習(30分)
5	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第5回授業内容の予習(30分) 復習：第5回授業内容の復習(30分)
6	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第6回授業内容の予習(30分) 復習：第6回授業内容の復習(30分)
7	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第7回授業内容の予習(30分) 復習：第7回授業内容の復習(30分)
8	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第8回授業内容の予習(30分) 復習：第8回授業内容の復習(30分)
9	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第9回授業内容の予習(30分) 復習：第9回授業内容の復習(30分)
10	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第10回授業内容の予習(30分) 復習：第10回授業内容の復習(30分)
11	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第11回授業内容の予習(30分) 復習：第11回授業内容の復習(30分)
12	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第12回授業内容の予習(30分) 復習：第12回授業内容の復習(30分)
13	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第13回授業内容の予習(30分) 復習：第13回授業内容の復習(30分)
14	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第14回授業内容の予習(30分) 復習：第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習 期末テスト	予習：テスト前の総復習(60分) 復習：テスト後の確認(30分)

《基礎科目》

科目名	キャリアサポート（アジアビジネス）II				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

キャリアサポート で学んだ内容を復習しつつ、履歴書・エントリーシートなどの書類を完成させます。留学生のための就職情報などもこの授業でお知らせし、面接の個人指導も授業内外で行っていきます。十分に準備が整えられるよう授業計画をよく読んで、課題に取り組んでください。

《授業の到達目標》

- ・合同説明会や面談会に自発的に参加できるようになる。
- ・履歴書やエントリーシート、志望動機等を日本語で作成できる。
- ・自分の強みや志望動機を日本語で伝えることができる。
- ・求人票などの資料から必要な情報を検索することができる。
- ・日本の労働法を理解し、説明することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート 40%  
 課題 30% 実技 0%  
 授業の取組 40%  
 その他（プレゼンテーション） 30%

《教科書》

進路指導室から配布される就職活動ハンドブック

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

履歴書・エントリーシートは添削して返却しますので修正してください。面接は都度アドバイスをしますので、メモをとっておいてください。

《成績評価基準》

- ・合同説明会や面談会に参加したか。
- ・履歴書とエントリーシートが完成したか。
- ・面接で大体の質問に日本語で受け答えできるか。
- ・日本の労働法や在留資格変更手続きについて自分のことばで説明できるか。

《参考図書》

適宜指示します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	就職活動の概要の復習	予習：キャリアサポート 見直し 30分 復習：配布プリント復習 30分
2	外国人留学生の就活問題点と対策	予習：問題点準備 30分 復習：気付き小レポート 30分
3	企業・業界研究と仕事選び	予習：就活ハンドブック該当ページ 30分 復習：興味がある仕事小レポート 30分
4	求人情報の探し方	予習：求人情報検索 30分 復習：気付き小レポート 30分
5	エントリーシート（ES）作成	予習：ES 準備 30分 復習：ES 提出 30分
6	エントリーシート添削・作成	予習：ES 準備 30分 復習：ES 提出 30分
7	面接練習（準備）	予習：面接シート準備 30分 復習：気付き小レポート 30分
8	面接練習（実践）	予習：面接シート準備 30分 復習：気付き小レポート 30分
9	面接練習（外部講師による実践）	予習：面接シート準備 30分 復習：気付き小レポート 30分
10	グループディスカッション対策	予習：就活ハンドブック該当ページ 30分 復習：気付き小レポート 30分
11	筆記試験 SPI	予習：就活ハンドブック該当ページ 30分 復習：SPI 問題提出
12	面接練習（個人）	予習：面接シート準備 30分 復習：面接シート修正 30分
13	面接練習（集団）	予習：面接シート準備 30分 復習：面接シート修正 30分
14	日本の労働法権利と義務	予習：労働法について調べる 30分 復習：気付き小レポート 30分
15	内定後の在留資格変更手続き	予習：就活ハンドブック該当ページ 30分 復習：授業まとめ 30分

《専門科目》

科目名	物権法				
担当者氏名	井上 しづ恵				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。				

《授業の概要》

物権法の条文を理解し、物権法のルールが実際の場面でどのように適用されるのかを検討する。総則等の基本概念を復習したり、理解を深めたりしながら物権法を理解する。学生の習熟度を優先するため、スケジュール・進捗は変更することもある。

《授業の到達目標》

物権法の基本概念、判例を理解する。実際の事案を分析・検討し解決方法を見出すことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%  
授業への貢献 20%  
課題 30%

《教科書》

開講後、指示をする。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

フィードバックの時間を設ける

《成績評価基準》

授業中積極的に参加することを評価の対象とする。課題については、開講後伝える。

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	物権法総論	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
2	総論	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
3	総論	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
4	占有権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
5	占有権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
6	所有権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
7	所有権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
8	用益物権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
9	担保物件総論	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
10	担保物件総論	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
11	留置権、先取特権、質権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
12	抵当権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
13	抵当権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
14	抵当権	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。
15	まとめ	教科書の指示された部分を読んでおく。授業のノート・レジメをまとめ、授業中に扱った演習問題を書く。

《専門科目》

科目名	行政法				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。 1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

まず、行政の活動のうち、非権力的行政活動について取り扱い、その後に、行政救済法分野（事前救済・事後救済）をあつかう。国家賠償法、行政不服審査法、行政事件訴訟法等に基づき、どのような事件が争われているのかについて判例を参照しながら学んでいく。

《教科書》

よくわかる行政法（自由国民社）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

小テストののち、全体に対して解説を行う。

《授業の到達目標》

- ①非権力的行政活動の種類と特徴について理解すること
- ②行政救済制度にはどのようなものがあるのかを理解すること
- ③国家賠償法の概要が説明できるようになること
- ④行政不服審査法に基づいて行う審査請求について理解すること
- ⑤行政訴訟について、具体的判例を基に理解すること

《成績評価基準》

小テストとまとめのテストを基に総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート %  
 課題 40% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	非権力的行政活動① 行政契約	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
2	非権力的行政活動② 行政計画	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
3	非権力的行政活動③ 行政指導	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
4	行政手続法	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
5	行政救済法の全体構造	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
6	国家賠償法1条	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
7	国家賠償法2条	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
8	前半の総復習	前半の復習を行うこと(2時間)
9	行政不服審査法①	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
10	行政不服審査法② (判例)	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
11	行政事件訴訟法の構造	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
12	取消訴訟の訴訟要件とはなにか	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
13	原告適格(判例)	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
14	処分性(判例)	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
15	全体の復習とまとめのテスト	全体の復習を行うこと(2時間)

《専門科目》

科目名	会社法				
担当者氏名	森江 由美子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。 1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

会社法は、企業形態の一つである会社に関する法律です。この会社法は、会社をめぐる様々な利害関係を調整し、法律関係を円滑に処理する役割を担っています。したがって、会社法は、ビジネスパーソンにとって大変身近な法律であるのです。この授業では、株式会社を中心に会社法の基礎を体系的に理解できるように、税理士としての実務経験を活かし、実践的視点から授業を行います。

《授業の到達目標》

本講義は、社会人となった時に知っておきたいビジネスルールとしての会社法の考え方を修得することを目標とします。具体的には次の通りです。

会社法の基本的仕組みを理解できる。

会社法の基本的問題に関して認識できる。

具体的な問題解決に必要な会社法の仕組みと解釈方法を修得できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート %

課題 % 実技 %

授業の取組 40%

その他 ( ) %

《教科書》

指定なし

授業レジュメを使用

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出課題については、2週間以内にコメントをつけて返却する

《成績評価基準》

会社法の基本的仕組みを理解できたか。

会社法の基本的問題に関して認識できたか。

具体的な問題解決に必要な会社法の仕組みと解釈方法を修得できたか。

《参考図書》

会社法の基礎[第2版]加藤徹・笹川敏彦[編]法律文化社  
 ポケット六法2022有斐閣

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講義概要と講義の進め方	予習：シラバスを読んでくること。復習：配布レジュメを復習をすること。予復習時間：1時間
2	会社の種類及び特色	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
3	株式会社の設立	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
4	株式 総説 株式の内容・種類	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
5	株式 株式について理解する	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
6	株式 株主名簿・単元株制度について理解する	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
7	株式会社の機関 総説 会社の機関とは何か	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
8	株式会社の機関 株主総会	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
9	株式会社の機関 取締役・取締役会	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
10	株式会社の機関 監査役等その他の機関	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
11	会社の役員の責任	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
12	株式会社の計算	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
13	組織再編	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
14	定款変更 解散・清算	予習：レジュメを読んでくること。復習：配布する復習問題を解いて次回授業に持参すること。予復習時間：1時間
15	授業の総括	予習：復習問題の内容を理解し覚えてくること。復習：まとめのテストの復習をすること。予復習時間：1時間

《専門科目》

科目名	スポーツと法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。			

《授業の概要》

スポーツ指導者が負う可能性のある法的責任について説明を聞き、具体的な事例に基づいて理解を深める。スポーツに関する人権問題や紛争解決方法について理解する。

《教科書》

『リファレンスブック』(日本スポーツ協会)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回のコメントページにコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

スポーツの指導を行う者(指導者、インストラクター)が配慮しなければならない法的知識を、過去の事故例に基づいて理解することができる。

スポーツ事故の予防、事故が起きた時の対処、危機管理について具体的に行動できる。

スポーツ指導に携わる者として、常に人権を意識した行動ができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ の達成度を、期末試験(80%)および、不定期に課すコメントペーパー(20%)で測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 45% レポート %

課題 45% 実技 %

授業の取組 5%

その他 ( ) %

《参考図書》

日本スポーツ法学会『標準テキスト スポーツ法学 第3版』(イイデル研究社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	スポーツと法の関係	【予習】教科書を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
2	指導者の法的責任 (刑事・民事・行政)	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
3	民事責任(1) ～不法行為責任	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
4	民事責任(2) ～不法行為・契約責任	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
5	【スポーツ事故判例】 ママさんバレー練習事故	【予習】参考資料(判決文)を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
6	【スポーツ事故判例】 法的責任・予防と対策	【予習】予防策と対応策について考える(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
7	【スポーツ事故判例】 柔道授業中におきた事故	【予習】参考資料(判決文)を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
8	【スポーツ事故判例】 法的責任・予防と対策	【予習】予防策と対応策について考える(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
9	【スポーツ事故判例】 スポーツジムでの事故	【予習】参考資料(判決文)を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
10	スポーツ事故とリスクマ ネジメント	【予習】スポーツ事故判例 ～ の判決文を熟読する(3時間)。 【復習】リスクマネジメントの方法について調べる(3時間)。
11	暴力とハラスメント	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
12	スポーツのインテグリティ	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
13	スポーツ仲裁期間	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
14	スポーツ基本法とスポーツ 権	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
15	まとめ	【予習】これまでの学習内容を振り返る(3時間)。 【復習】理解が不十分な部分を確認し、今後の学習課題を検討する(1時間)。

《専門科目》

科目名	刑事政策				
担当者氏名	横溝 秀樹				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力		1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。			

《授業の概要》

教科書を参照しつつ、刑罰制度や犯罪者の社会復帰について学習するとともに、様々な犯罪の特徴や原因について理解を深めていく。

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題については、出来る限り速やかにコメント等を付して返却する。

《授業の到達目標》

犯罪対策としての刑罰の意義や問題点を理解し説明することができる。

犯罪者の社会復帰を目的とする様々な措置について理解し説明することができる。

様々な犯罪の特徴や原因について理解し説明することができる。

《成績評価基準》

～ の授業到達目標に達したか否かを期末試験と課題によって成績評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験80% レポート %

課題20% 実技 %

授業の取組 %

その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	刑事政策とは何か	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえる(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
2	犯罪原因論(その1)	予習内容：レジメ等の資料を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
3	犯罪原因論(その2)	予習内容：レジメ等の資料を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
4	犯罪原因論(その3)	予習内容：レジメ等の資料を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
5	刑罰制度(その1)： 刑罰の目的・歴史	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
6	刑罰制度(その2)： 死刑・自由刑	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
7	刑罰制度(その3)： 財産刑	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
8	刑罰類似の制度	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
9	犯罪者の処遇(その1)： 施設内処遇等	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
10	犯罪者の処遇(その2)： 社会内処遇	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
11	現代社会と犯罪(その1)： 児童・少年犯罪	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
12	現代社会と犯罪(その2)： 精神障がい者と犯罪	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
13	現代社会と犯罪(その3)： その他	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
14	犯罪被害者をめぐる問題	予習内容：教科書の関連部分を通読し、基本的内容を押さえておく(2時間) 復習内容：授業の際の説明・板書・ノート等を確認して理解を深める(2時間)
15	まとめ	予習内容：これまでの全体の総復習をする(2時間) 復習内容：理解の不十分な所を見つけ補充する(2時間)

《専門科目》

科目名	保険論				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力		1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。 1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。			

《授業の概要》

ファイナンシャルプランナーとして、金融関連の授業・資格講座・企業研修等や個人の相談業務に携わっている教員が、授業に関する様々な具体的事例の共有や学習のポイント事例を交えた講義・演習を行う。生命保険の仕組みや商品性を中心として、民間保険の基礎知識を学ぶ。

授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある  
毎回、配布テキスト全てを持参すること

《授業の到達目標》

本授業では、生命保険募集人資格一般過程程度の内容を基とする。金融業界に限らず多業種で生命保険損害保険業務の取り扱いが増えており、就職後に資格取得を求められることもある。リスクマネジメントのひとつである生命保険の基礎を学び商品理解を深めることを目的とし、就職後の業務での活用だけでなく、今後の生命保険加入の検討時など、個人生活でも役立てることを目標とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 45%  
レポート・課題 15%  
授業の取組 40%  
その他 ( ) %

《教科書》

なし（適宜プリントを配布）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《成績評価基準》

受講態度・レポートなど課題提出等の取り組み姿勢を中心に、ミニテスト・まとめの筆記試験を評価項目とする

《参考図書》

うかる FP3級速攻テキスト2022 2023年版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	生命保険とは	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
2	生命保険の歴史	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
3	生命保険の仕組み	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
4	生命保険の仕組み	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
5	商品の種類と特徴	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
6	商品の種類と特徴	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
7	商品の種類と特徴	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
8	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
9	生命保険と契約	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
10	生命保険と契約	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
11	様々な特約	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
12	生命保険と消費者保護	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
13	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
14	レポート	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
15	まとめ	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ



《専門科目》

科目名	会計学				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

近年、企業経営のグローバル化の影響を受け、多くの会計基準が新設および改廃されている。この授業では、今まさに大きく変わりつつある日本の財務会計について学ぶ。

この授業を受講するにあたり、簿記や会社法、経営学等の知識があるとより深く理解できるため、これらの授業も受講すること。また、普段から新聞などで、企業活動や国内外の社会の動向をチェックしておくこと。

《授業の到達目標》

日本の財務会計に関する知識の習得を目標とする。

会計の役割と特徴がわかる。

日本と国際財務報告基準（IFRS）とアメリカ基準の違いがわかる。

会計の観点から、企業経営の特徴がわかる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 70%

課題 % 実技 %

授業の取組 %

その他（小テスト） 30%

《教科書》

桜井久勝・須田一幸著『財務会計・入門 企業活動を描き出す会計情報とその活用法』有斐閣。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（30%）。期末のレポート課題では、到達目標 ~ の習得度を問う（70%）。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	会計とは何か	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
2	財務会計の役割	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
3	企業会計のシステム	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
4	損益計算の基本原則	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
5	資産評価の基本原則	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
6	財務諸表の作成と公開	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
7	企業の設立と資金調達	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
8	仕入・生産活動	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
9	販売活動	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
10	収益認識基準（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
11	収益認識基準（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
12	設備投資と研究開発	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
13	資金の管理と運用（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
14	資金の運用と管理（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。
15	国際活動	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジユメを熟読する（2時間）。

《専門科目》

科目名	工業簿記				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

「商業簿記」は商品売買業を対象にした簿記であるのに対して、「工業簿記」は製造業を対象にした簿記である。製造業では仕入れた材料に加工を施すので、製品を作るのにかかった費用を計算しなければならないため、工業簿記を使う。この授業では日商2級の範囲を扱う。毎回必ず電卓（またはそろばん）を持参すること。

《教科書》

桑原知之著『サクッとわかる日商2級テキスト工業簿記』ネットスクール株式会社出版本部。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

工業簿記の習得を目標とする。  
目的の応じた原価計算ができる。  
費用と利益の関係から、企業の経営活動の管理ができるようになる。  
企業の生産活動の流れをイメージできるようになる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28％）。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う（72％）。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %  
課題 % 実技 %  
授業の取組 %  
その他（小テスト） 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	工業簿記の基礎	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	費目別計算	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	製造間接費の配賦	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	総合原価計算（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	総合原価計算（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	総合原価計算（3）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	標準原価計算（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	標準原価計算（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	CVP分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	直接原価計算による損益計算書	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	個別原価計算	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	部門別計算	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	費目別計算の応用	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	本社工場会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	簿記上級				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

株式会社で行われる会計処理と記帳技術について学ぶ（日商簿記検定2級レベル）。  
 なお、この授業は、既に日商簿記検定3級レベルの知識を習得していることを前提に進めていく。  
 毎回必ず電卓（またはそろばん）を持参すること。

《教科書》

滝澤ななみ著『スッキリわかる日商簿記2級商業簿記』TAC株式会社出版事業部。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

中規模株式会社の簿記技術の習得を目標とする。  
 日本の会計基準や会社法、会社計算規則等に従った会計処理ができるようになる。  
 企業の経営活動をイメージできるようになる。  
 国際財務報告基準（IFRS）と日本基準の会計処理の違いがわかる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28%）。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う（72%）。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他（小テスト） 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	簿記一巡の手続き・株式会社の特徴	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	株式の発行、剰余金の配当と処分	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	合併と無形固定資産	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	法人税等と消費税	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	商品売買等（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	商品売買等（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	手形と電子記録債権（債務）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	その他の債権譲渡	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	銀行勘定調整表	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	固定資産（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	固定資産（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	リース取引・研究開発費とソフトウェア	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	有価証券（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	有価証券（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。 1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

前期は、テキストを読み解き、グループ報告を行う。その後、卒業研究についてレクチャーを受け、夏休み中に卒業研究計画書を提出する。また、裁判所見学や、夏季休暇中の研修合宿を行う。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題・レポートは、教員がコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

前期のゼミナールでは、法律に関わるテキストを読み、グループごとに報告することで、テキストを読む力、情報収集する力、プレゼンテーションする力、チームワークを築く力を修得することができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ に達したかを、グループ報告に対する評価(70%)、裁判所見学のレポートに対する評価(10%)、図書館の使い方に関する課題(10%)、ゼミへの参加態度(10%)によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 10%  
 課題 10% 実技 %  
 授業の取組 10%  
 その他(グループ報告) 70%

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	【予習】新2年生ガイダンスでゼミの活動内容を聞き、希望調査票を提出する(1時間) 【復習】各自の役割を確認。課題テキストを読む(1時間)
2	テキストの読み方	【予習】課題テキストを熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】ゼミの内容を振り返り、疑問点を整理する(1時間)
3	テキストの読み方	【予習】課題テキストを熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】ゼミの内容を振り返り、疑問点を整理する(1時間)
4	報告のやり方	【予習】報告するテキストを選定し、読み込む(1時間) 【復習】ゼミの内容を振り返り、疑問点を整理する(1時間)
5	報告のやり方	【予習】報告するテキストを選定し、読み込む(1時間) 【復習】ゼミの内容を振り返り、疑問点を整理する(1時間)
6	裁判所見学	【予習】配布資料をもとに、裁判について理解しておく(1時間) 【復習】傍聴した裁判に基づきレポートを書く(1時間)
7	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
8	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
9	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
10	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
11	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
12	卒業研究についてのレクチャー	【予習】配布資料を熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】内容を振り返り、卒業研究テーマを検討する(2時間)
13	卒業研究についてのレクチャー	【予習】配布資料を熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】内容を振り返り、卒業研究テーマを検討する(2時間)
14	資料の探し方・図書館の使い方	【予習】配布資料をもとに資料収集の方法を理解する(1時間) 【復習】課題に取り組む(2時間)
15	卒業研究について各自の報告	【予習】各自で資料を収集し、概要を作成する(3時間) 【復習】報告の不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。 1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。			

《授業の概要》

学生主体で討論を行い、各自自分の興味関心に応じた研究を行い、その内容をまとめ発表を行う。後期には研究テーマに関し卒業研究を行う。

《教科書》

指定しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の報告、発表等に関しその場でコメントをおこなう。

《授業の到達目標》

- ①法学、憲法、行政法を中心に自らの研究テーマを見出し、
- ②研究領域に関する基本的論点を把握し、それらの説明ができる。
- ③自分の決めた研究テーマについて論理的に説明した卒業研究を作成する。

《成績評価基準》

到達目標①～③をゼミでの活動とプレゼン、卒業研究によって総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 80% 実技 %  
 授業の取組 20%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に適宜指定する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス①	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
2	ガイダンス②	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
3	ディスカッション入門	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
4	グループワーク①	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
5	報告	前回のグループワークをもとに報告書を作り、報告する。(2時間)
6	グループワーク	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
7	報告	前回のグループワークをもとに報告書を作り、報告する。(2時間)
8	裁判所見学事前学習	裁判の仕組み、民事裁判と刑事裁判、裁判員制度について理解すること。(2時間)
9	裁判所見学	前回の復習及び、見学した裁判に関してミニレポートを提出。(2時間)
10	進路指導、個人面談	各自、就職活動、進路に関する進捗状況をまとめ、課題等をまとめておくこと。(2時間)
11	プレゼンの実践	グループごとに、法学のテーマを中心に課題学習を行う。テーマ設定のために各自資料に目を通しておくこと(2時間)
12	プレゼンの実践	課題学習(2時間)
13	プレゼンの実践	プレゼン資料の作成(2時間)
14	プレゼンの実践	プレゼンの実施と討論の準備(2時間)
15	プレゼンの実践	プレゼンの実施と討論の準備(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	演習	単位・必修	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。 1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

前期は、簿記・会計の知識や技術を実務で生かせるよう、応用演習を行う。  
 ゼミナールの内容をより理解するために、各簿記の授業および会計学、経営学等の関連科目を受講すること。また、普段から企業活動や国内外の社会の動向をチェックすること。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ゼミナール内でコメントする。

《授業の到達目標》

複式簿記および会計制度について理解を深めることを目標とする。

社会における、簿記・会計の役割を理解する。  
 日本の会計制度についてわかるようになる。  
 企業で行われている会計処理の意味がわかる。

《成績評価基準》

小テストの点数、およびゼミナール内での討論等への貢献度を評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 5%  
 その他（小テスト） 10%

《参考図書》

鶴見正史編著『複式簿記概説』五紘舎。  
 桜井久勝著『財務会計講義』中央経済社。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：会計処理・制度の復習（2時間）。
2	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
3	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
4	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
5	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
6	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
7	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
8	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
9	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
10	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
11	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
12	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
13	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
14	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。
15	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習（2時間）。 復習：小テストの範囲の復習（2時間）。

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

ゼミで新しいことを学ぶ際は、前回までで学んできた専門知識の理解が前提となる。よって、毎回一定量の予習と復習が必要となる。また、参加者からの意見など、情報発信の機会を与えるため、ほぼ毎回の発言を求める。

《教科書》

適宜伝える。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ゼミナール内でコメントする

《授業の到達目標》

このゼミナールでは「現実には起こっている経済現象」に目を向けながら、それらが起こる原因などを論理的に説明するための専門知識を身につけ、その上で「私たちの社会では、今、どのような商品・サービス・働き方が求められているのか？」を経営学(あるいはマーケティング)的思考を用いて自ら答えが出せるようになることを目標とする。

《成績評価基準》

筆記試験は実施せず、卒業研究と課題、授業への取り組みによって評価する。

《成績評価の方法》

報告および課題 80%  
授業の取組 20%

《参考図書》

指定なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：経済と経営学の関わりについて調べておく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
2	経済を見る目を養う：経済学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
3	経済を見る目を養う：経済学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
4	経済を見る目を養う：経済学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
5	経済を見る目を養う：経済学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
6	経済を見る目を養う：経済学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
7	経済を見る目を養う：経済学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
8	経済を見る目を養う：経済学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
9	経営学もしくはマーケティング的思考法を学ぶ	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
10	経営学もしくはマーケティング的思考法を学ぶ	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
11	経営学もしくはマーケティング的思考法を学ぶ	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
12	経営学もしくはマーケティング的思考法を学ぶ	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
13	経営学もしくはマーケティング的思考法を学ぶ	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
14	経営学もしくはマーケティング的思考法を学ぶ	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
15	経営学もしくはマーケティング的思考法を学ぶ	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)

《専門科目》

科目名	ビジネス実務法務検定対策講座				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。				

《授業の概要》

ビジネスに関係する法律について、基本原理や考え方のポイントを中心に説明を聞き理解する。  
「ビジネス実務法務検定3級」の過去問演習を通じて、どこまで理解できたかを確認する。

《教科書》

東京商工会議所編『ビジネス実務法務検定試験®3級公式テキスト 2022年度版』（東京商工会議所検定センター・2022年）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の確認問題を採点后に返却する。

《授業の到達目標》

企業や組織に属し、ビジネスに必要な法律知識を修得する。  
民法（民法総則・債権法・物権法）や会社法の知識を結びつけて体系的に理解できる。  
ビジネス実務法務検定試験3級に合格し、宅地建物取引士試験や行政書士試験にチャレンジするための土台を作る。

《成績評価基準》

到達目標 の達成度を毎回の確認問題（過去問）を通じて測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
課題 90% 実技 %  
授業の取組 10%  
その他 ( ) %

《参考図書》

東京商工会議所編『ビジネス実務法務検定試験®3級公式問題集 2022年度版』（東京商工会議所検定センター・2022年）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ビジネス活動におけるリスクと法律	【予習】教科書全体とシラバスを読み、授業内容を概観する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
2	企業活動と法理念 法律の基礎知識	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
3	契約の成立(1)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
4	契約の成立(2)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
5	契約成立後の法律関係	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
6	契約の諸形態(1) 貸借型契約	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
7	契約の諸形態(2) 労務型の契約	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
8	契約によらない債権・債務関係	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
9	債権の管理と回収(1)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
10	債権の管理と回収(2)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
11	企業活動と取引	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
12	株式会社(1)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
13	株式会社(2)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
14	企業と従業員の関係(1)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
15	企業と従業員の関係(2)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)